

平成25年度 事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	観光施設維持管理事務						継続		
コード	24	-	57	-	04	-	00	予算事業名	観光施設
担当部署	産業観光部	観光課			観光企画担当			予算事業コード	会計 10 款 07 項 01 目 03

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)		位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	4章	にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち	実施計画事業名	観光施設
方向性(節)	2節	観光による地域振興	個別計画等の名称	川越市観光振興計画
施策	2	観光環境の整備	当事業に関連する事務事業	なし
細施策	3	観光施設の整備		
事業実施の根拠となる法令・条例等	なし			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	観光環境の整備を図るために、観光施設の維持管理等を行う。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	観光課で所管している公衆トイレや土日祝日の市庁舎駐車場、仲町観光案内所、鍛冶町広場、旧山崎家別邸等の維持管理を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額	270,306	85,993	38,196	477,878	41,292	
(25年度予算額大幅増/減の理由)	旧山崎家別邸整備工事の実施設計の経費を予算計上したため。					
事業費 A	213,980	79,713	33,391	474,856	41,292	452,818
人件費 B	4,035	4,035	4,035	4,035	4,035	4,035
総コスト(C=A+B)	218,015	83,748	37,426	478,891	45,327	456,853
正規職員(1年間の従事人数)	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人
臨時職員(1年間の従事人数)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金 D	0	0	0	191,381	6,982	146,558
その他特定財源 E	153,115	15,685	14,844	244,870	22,770	245,183
市の財政負担(=C-D-E)	64,900	68,063	22,582	42,640	15,575	65,112

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
成果	市庁舎駐車場利用台数(土日祝)	円	47,508	39,035	36,841	40,084	42,000	29年度 45,000
成果	仲町観光案内所利用人数	人	-	-	45,445	44,535	48,000	29年度 50,000
	指標の定義・説明							
	指標の定義・説明							
	指標の定義・説明							

指標に基づく評価
平成23年度は東日本大震災の影響により駐車場の利用台数が前年度比で落ち込んだものの、市制施行90周年であった平成24年に入込観光客数が大幅に伸びたことあって、平成24年度は増加に転じた。一方で、仲町観光案内所の利用人数については前年度比で減少しており、今後、活用方法を検討する余地はある。

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題		
土日祝日の駐車場の運営に関しては、料金徴収機器のリース料や係員の人件費等のコストが大きく、より効率的な運営方法を検討する余地はある。また、公衆トイレの建物の老朽化が課題となっており、必要なものから順次改修を検討している。			
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	川崎市では市役所・区役所の駐車場を民間事業者に一括して貸し付け、運営を行っている。		
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	観光客の利便性の低下につながると予想されるため、事業の廃止・縮小は困難と思われる。		

平成25年度事務事業評価 方向性提示シート

所管部署		産業観光部				観光課	観光企画担当
事務事業名称		24	57	04	00	観光施設維持管理事務	
今後3年間の方向性	25年度	継続					
	26年度	継続					
	27年度	継続					